



男女共同参画社会の実現に向けて



第52号

2022
Spring

真の男女共同参画社会実現に向けたメッセージを、すべての人（=For You）に発信したいとの願いを込めて名付けられました。

コロナ下の女性 影響と課題

～新座市で活躍する女性たち～



新型コロナウイルス感染症は、社会の各層・分野に影響を与えました。

特に女性へ深刻な影響を与えた根底には、平時において未だに残る男女の格差の問題があり、新型コロナウイルス感染症の影響でこの問題が顕在化しました。

経済（雇用）

女性の多い産業や
非正規雇用労働者に
大きな影響

健康

女性の自殺者数が増加
（前年比 935 人増）

女性への暴力

DV相談件数の増加
（前年同期比 1.5 倍）

家庭生活

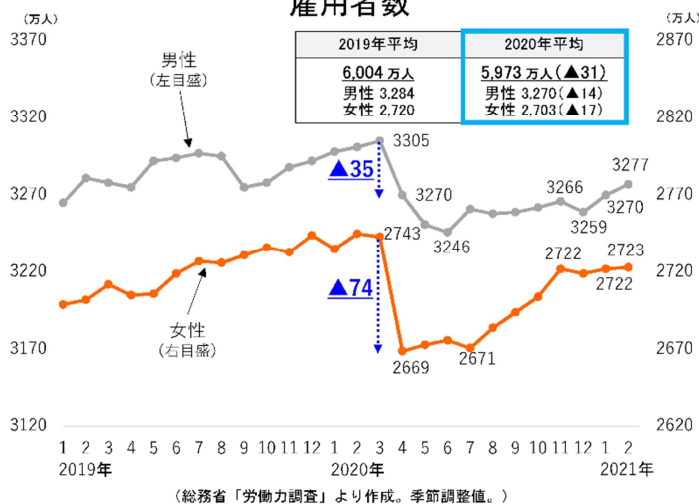
女性の家事・育児・介
護の負担感が増加

雇用（総務省「労働力調査」より）

雇用者数は、男女ともに令和2年4月に大幅に減少しましたが、特に女性の減少幅が大きくなっています。（前月と比較して、男性は35万人減少、女性は74万人減少）また、女性は男性に比べて非正規雇用労働者が多く、特に「宿泊、飲食業」「生活、娯楽業」「卸売、小売業」「医療、福祉」は、女性の非正規雇用労働者の割合が高くなっています。コロナ下で女性に強い影響が表れている背景には、今回大きな打撃を受けている「宿泊、飲食業」などの雇用者は女性の割合が高いことに加え、それらの産業は非正規雇用労働者の割合が高く、さらにその非正規雇用労働者には女性が多いことが挙げられています。

「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」より
（研究会事務局：内閣府男女共同参画局調査室）

雇用者数



新座市で活躍する女性たち

新型コロナウイルス感染症により、コロナ禍以前から続く、男性と女性との格差が明るみに出ました。こうした状況を改善していくためには、国や自治体だけではなく、一人ひとりが男女共同参画の推進に取り組むことが必要です。

男女共同参画社会をどう実現していくのか、若い世代の人たちにも関心を持ってもらいたいという願いを具体化するため、十文字学園女子大学文芸文化学科石野榮一教授の協力を得て、同大の学生の皆さんに新座市で活躍する女性たちをインタビューしていただきました。

インタビュー記事
は次のページから



好きなことを やり続ける先にあるもの

スイーツ店
パティスリー リアント 経営
さんだ ふみこ
三田 文子さん

『パティスリー リアント』は
新座市畑中の住宅街にあるスー
ツ店。フランスの片田舎にあるお
菓子屋さんをイメージした外観と
石造りの街を想像させるエントラ
ンスが特徴のお店を経営するのは、
40歳で開業した三田文子さん。
『成功する確信はなかったけれど、
やっておけばよかったなと思っ
たが嫌でした』と開業当時の思いを
語り、「好きなことをやっているの
で、忙しくて体力的にはハードで
すがストレスはありません」と言
います。三田さんのお話を伺って、
働くことの意味を考える機会にな
りました。

▼お店を開く前はどんなお仕事
をされていたのですか。

三田さん 民間企業の社員で
した。もともと食べることは好き
で趣味でお菓子は作っていました
が、まさか自分でお店を開くと
は思いもしなかったです。ただキ
ャリアを重ねる中で、やっぱりお
店をやりたいなあと思いが募っ
ていきました。会社で勤務しなが
ら専門学校に通いましたが、どっ
ちつかずになると思い一度は諦
めかけました。しかし、やっぱり
「やりたい」という思いが勝り、
会社を辞めました。36歳の時でし
た。昼間はお菓子作りの修行、夜
間は学校という生活を2年くら
い続けました。40歳でこのお店を
開きましたが、見切り発車という
感じでしたね(笑)



絶対成功するという確信はあり
ませんでした。やっておけばよ
かったなと思うのが嫌でした。失

敗したらしょうがないという気持
ちでした。

▼お店の開業や経営の中で「女
性だから苦労した」などの経験は
ありましたか。

三田さん 前にいた会社も男女の
差別は全くありませんでした。会
社は安定していたし、お給料も毎
月同じようにもらえました。しか
し、ケーキ屋は意味、季節労働
者です。最初の2年くらいは
すごく不安でした。3年目くら
いから慣れてきて、こういう風に回
していけばいいのだと分かってき
て、自分のペースで、自分が思っ
うにやっていくと考えるようにな
りました。女性だから苦労した
というのは特に感じたことはありません。

開業することは、父は不安に感
じていたようですが、母は、「やり
たいことを」というような感じで
言ってくれました。会社でいたと
きは、自分の思い通りにならない
もどかしさ、ストレスみたいなも
のを感じることがありました。今
は好きなことをやっているの

忙しくて体力的にはハードですが
ストレスはないですね。不安定は
不安定ですけど(笑)

▼お店で人気の商品はありますか。

三田さん モンブランが一番人
気では年中お店に並んでいます。
主なメニューは学校に通っていた
頃作っていたメニューをアレンジ
して作っています。オリジナルメ
ニューは、自分が食べたいもの、メ
ディア等の情報から美味しそうと
思った食材と、それに合う食材は
何かを見つけたから考えています。
試作品を母に試食してもらったこ
ともあります。開発に苦労した商品
は豆乳ティラミス。動物性の食材
を使っていないので、アレルギー
を持った人にも食べてもらえます。
植物性の食材だけで美味しいもの
を作るのは難しいのですが、試行
錯誤を繰り返して美味しいものが
できたときはうれしかったですね。

▼お店にはどういった人に来て
いたいですか。

三田さん 特にターゲットや狙い
はありません。自分が美味しいと
思った物を提供したいと思っています



(聞き手・杉原万優 関根穂乃佳)

▼パティシエは男性の方が多い印
象がありますが。

三田さん メディアなどで有名な
方は男性の方が多いですが、お店
や講習会に行くと女性の方が圧倒
的に多いですよ。ただ、結婚を機に
辞めてしまう人も多いのかなあ。
家庭と仕事を両立させたいと思っ
と難しい部分もあるのかもしれない
です。ただ女性だからというより
は、個人の考えが大きいと思いま
す。

相談できる場所の 大切さを実感

新座市役所女性困りごと相談室 相談員



男女が共に生活していく上でトラブルや悩み事は避けて通れません。そのとき誰かに相談できない場合も多いと思います。新座市では、男女共同参画社会を実現する一助として女性困りごと相談室(※)が設置されています。その相談員の方にお話を伺いました。(※令和4年4月から名称が「福祉相談室」に変わります。)

▼相談員になろうと思ったきっかけはなんですか。

相談員 家族や友達、仲間がいても、本当に自分が困った時に話せない事ってありますよね。

問題が深刻であるほど話せなくなることもあります。私が若い頃は、そうした悩みを相談する場所がなかったたので、悩みを聞いて、よい解決方法を見つけてあげることができたら、気持ちを楽にしてあげることができたら、と思ったのが、相談員になったきっかけです。

▼主にとどの年代の方がどのような内容の相談で来室されますか。
相談員 相談にいらした方の年齢を伺っていないので推測になりますが、30代から70代と幅広い年代の方がいらつしやる中で、特に40代の方の離婚の相談や、子どもや家族との関係についての相談が多いように感じます。

▼離婚相談では、どのような話が多いのですか。

相談員 DVが主な原因であることが多いです。DVといつても、モラハラから経済的なもの、金銭的なものであつて、一括りにするのは難しいのですが。

女性は男性より立場が弱いことが多いですね。たとえば、男性は女性に怒鳴られても怖く感じないかもしれませんが、女性は男性に怒鳴られると恐怖を感じることが多いです。私はこういった怒鳴るという行為もDVに含まれると考えています。

▼コロナ禍で相談内容に変化はありますか。

相談員 在宅勤務が広がったことで「夫がずっと家にいて、うつとうしい」、「家だと仕事に集中できない」といった不満から夫婦関係が悪くなったという相談が一時期、増えましたね。一方で、一緒に買い物に行くようになった、共同して家事をするようになったと夫婦の関係が良くなったというケースもあります。

コロナ禍で家庭での過ごし方や夫婦の距離感が変化して、当初は戸惑ったけれど、徐々に協力する部分、距離を保つ部分をお互いが理解するようになって関係が改善されたケースもあるのではないのでしょうか。

▼友人など、身近な人から相談された場合、どのようにすればよいでしょうか。

相談員 人には、本来自分で解決できる力があるのですが、問題が起きると、気持ちが混乱してしまうこともあります。

ですので、正解を押し付けるのではなく、ゆっくりと話を聞き、本人が解決できるように導いてあげられるといいですね。人に話すことで自分の気持ちを整理することもできます。相談室でも話を聞いてあげただけなのに、「ありがとう、すっきりしました」と言う人も多いです。

▼「傾聴」という事が大切というところでしょうか。

相談員 傾聴すること、その人の問題は何かと見極めることは難しいことです。混乱している整理がついていないのか、自信を持てずに困っているのか、精神的なもので医療に繋がった方がよいのか、など、色々なことを判断する必要があります。

お友達などから相談されたときに大切なのは、「大変ね」と話を聞き、寄り添うということ、またそのような気持ちで接するということだと思います。

(聞き手・内尾紫乃、大野瑞歩、
トウ・ウビン)





令和4年4月から「女性困りごと相談室」は「福祉相談室」へ ～「女性困りごと相談室」で行っていた相談は、 「福祉相談室」にご相談ください～

この春、「福祉相談室」が開設され、「女性困りごと相談室」の機能は「福祉相談室」に引き継がれます。「福祉相談室」では、どこに相談していいかわからない、複数の部署にまたがるような福祉に関する相談を受け止め、関係部署・機関をご紹介し、必要な支援につなげていきます。

今まで「女性困りごと相談室」で行っていた配偶者等からの暴力や離婚問題などについても相談することができます。

一人で悩まず、安心してご相談ください

- ▼開室時間／月曜、水曜、金曜日（祝日、年末年始を除く。）午前9時～午後5時
※受付時間は午前9時～午前11時30分、午後1時～午後4時30分
- ▼場所／本庁舎4階窓口又は相談室（電話相談可。TEL 048-477-1835）
- ▼問合せ／福祉政策課（TEL 048-424-4693）



【内閣府 男女共同参画局から】

毎年4月は

「若年層の性暴力被害予防月間」です

10代・20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。
「被害にあっているかも。」と思ったら、ひとりで悩まず
ご相談ください。

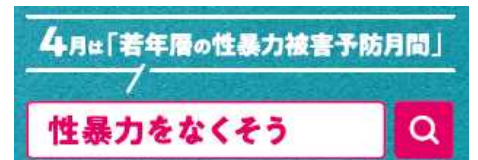
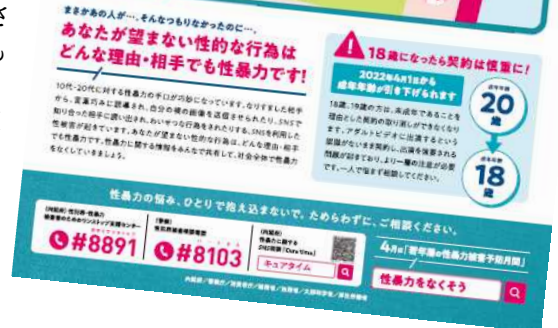
性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為です。10代から20代の若年層を狙った性犯罪・性暴力は、その未熟さに付け込んだ許しがたい重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。

政府は、毎年入学・進学時期である4月を、「若年層の性暴力被害予防月間」とし、AV出演強要、JKビジネス、深刻化しているレイプドラッグの問題、酩酊状態に乗じた性的行為の問題、SNS利用に起因する性被害、セクシュアルハラスメント、痴漢等、若年層の様々な性暴力被害の予防啓発や性暴力被害に関する相談先の周知、周りからの声掛けの必要性など啓発をしています。

また、令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に引下げとなることにより、18歳になると一人で有効な契約をすることが可能となり、未成年者取り消しができなくなります。このことは、AV出演強要及びJKビジネス問題等、若年層の性暴力被害をさらに深刻なものにさせないか懸念されています。

「被害にあっているかも。」と思ったら、ひとりで悩まずご相談ください。

怖いくらい、やさしい人だった。
会ってみたら、ほんとに怖かった。



【主な相談窓口】

- 《内閣府》性犯罪・性暴力について ◆性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891 DVについて ◆DV相談ナビ #8008 ◆DV相談プラス TEL 0120-279-889
- 《埼玉県》◆埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）TEL 048-600-3800
※祝日・第3木曜日・年末年始を除く

関連情報

内閣府男女共同参画局のホームページでは、表面で取り上げた「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」などを、ご覧になることができます。

新座市男女共同参画情報紙「For You」 第52号（令和4年4月発行）

◇協力：十文字学園女子大学文芸文化学科 石野榮一教授・ 同大学 学生の皆さん

◇編集：新座市人権推進室 〒352-8623 埼玉県新座市野火止一丁目1番1号
TEL 048-477-1513 FAX 048-479-2225